

申13号 「2025年3月ダイヤ改正検証」に関する申し入れ

2025年11月28日 団体交渉開催 その2 全8項終了

「労働条件」に関する項目

6. 行路作成における睡眠を目的とした乗務の中断は、着発の時間の考慮から到着点呼時刻から起床点呼までの時間の考慮とし、運転士においては6時間以上、車掌においては5時間以上を確保すること。

会社
回答

▶ 運転士は入出区作業があると休養時間が減る。**赤出区を緑出区にするなど改善しているところ**である。

▶ 蘇我乗務ユニットとの持ち替えについては引き続き声をあげていただきたい。

「職場環境」に関する項目

7. 旧蘇我運輸区京葉派出乗務員休養施設については、翌日の安全輸送を阻害しないためにも、休養施設の抜本的な改善を実施すること。

会社
回答

▶ 6年前に部屋の改装を実施しているが、抜本的な改善には至らなかった。ただ**ベッド、マットレス等改善には努めている**。

▶ 女性の休養エリアはポイントに近く、特に騒音、振動が酷いと聞いている。

▶ **建て替えは費用が高む。新たな用地探しとなると何年もかかる。直ちに改善とはならない**。

▶ **この件は他支社からも改善要望があるのでなんとかしたい**。

8. 府中本町駅乗務員宿泊所において、浴室利用が一部時間帯に輻輳していることから、浴室等を増設すること。

会社
回答

▶ この件は初耳である。しかしながら女性乗務員が増えているので、このような機会は減っているのではないかと思う。

【その他】京葉車両センターC棟が寒い。また掛け布団が古く、毛布もボロボロだ。

会社
回答

▶ 昨年にオイルヒーターを導入した。**冬に突入するので早急に対応できるところは対応したい**。

安全・安定輸送を基礎とした

利便性・サービス向上による働きがい創出し

鉄道安全と労働安全を実現しよう！

